

# 雨二モ負ケズ...

# 今、この瞬間を楽しめ



白熱のバトルが繰り広げられた「最強チーム決定戦」



第48回杏祭が18日（金）、19日（土）の2日間、アリーナをメイン会場に開かれました。今年のスローガンは「TO BE REAL ~今この瞬間を楽しめ~」。本祭にあたる19日のステージは、最強チーム決定戦と力自慢コンテストで開幕し、シンガーソングライター富岡愛さんのアーティストライブで最高潮に。スペシャルライブとして、竹屋元裕学長と南部雅美教授が白と黒のスーツ姿で登場し、息の合った優雅な演奏を披露しました。

隣接するバザー会場には15の模擬店が出店し、2号館では文化展も開催。途中突然の大雨に見舞われるハプニングもありましたが、会場は終日にぎわいを見せていました。夜になると900発を超える花火が打ち上げられ、祭りのフィナーレを飾りました。（NL編集部）

学生たちの工夫を凝らした店が並び、大にぎわいだった模擬店会場



宝探しコーナーでゲームに挑戦する来場者

ステージで息の合った演奏を披露する竹屋学長（左）と南部教授



杏祭のフィナーレを飾った900発超の花火

# 圧巻！4時間ライブ

杏祭 前祭

杏祭本祭前日の18日（金）に開かれた前祭では、アリーナで数々の華やかなステージが繰り広げられました。

トップバッターを務めた吹奏楽部は、鮮やかな照明に包まれながらジブリメドレーを披露。今回は2人での演奏でしたが、少人数での演奏とは思えない力強くも洗練されたパフォーマンスを披露していました。吹奏楽部演奏終了後の幕間では、川口弥恵子准教授が責任者を務め本学の学生もメンバーとして在籍している、性について考える研究会＝Study Group on Sexuality（SGS）が作成した、パートナーとの関わり方を見つめ直すことの重要性について訴える啓発動画が上映されました。

凄まじい盛り上がりを見せたのは、ダンスサークルmimic（ミミック）によるダンスパフォーマンス。客席ではステージ開始前から多くの観客が、応援うちわやペンライトを手にワクワク顔で待機。いざパフォーマンスが始まると、瞬く間に会場は大歓声に包まれました。メンバーたちは、K-POPやアニメソングなど幅広いジャンルの曲に合わせて、プロ顔負けのダンスを披露。曲ごとに演者を入れ替えながら、30曲にも及ぶ大ボリュームのステージを繰り広げました。

プログラム最後の軽音部の演奏中は規制線が取り払われ、さながら野外フェスのような盛り上がり。8バンドが登場しました。竹永和典教授（共通教育センター）や本学の卒業生も演者として参加しました。トリには山鹿敏臣講師（同）がギターボーカルを務める「山鹿バンド」が登場し、恒例になったTHE BLUE HEARTSの「リンダ リンダ」を披露。約4時間にわたる前祭ステージは、興奮のうちに幕を閉じました。（NL編集部）



約1時間半にわたって圧巻のパフォーマンスを見せたmimicのメンバーたち



ビートルズの楽曲演奏を披露した、竹永教授率いる「竹永バンド」



野外フェスのような盛り上がりを見せた軽音楽部の演奏

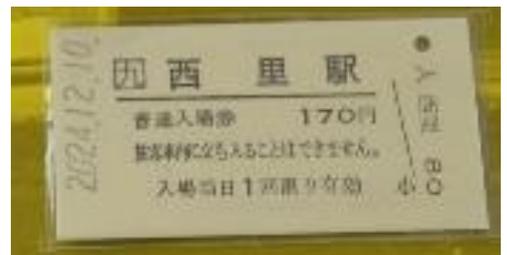
## JR西里駅開業70周年

### 本祭で記念入場券 先行販売

今年12月に開業70周年を迎えるJR西里駅の記念入場券が、杏祭（本祭）で先行販売されました。

記念入場券は、各駅に設置してある自動改札機では発券できない「硬券」という歴史のある貴重なデザインを採用しています。購入後は、西里駅に特別に設置してある改札機を使って「入缺体験」が出来るようになっています。さらに専用の台紙に貼ることで、記念品として保管できます。今回、台紙表紙のデザインは医学検査学科2年次生の後藤菜々子さんが担当。裏表紙に配されたイラストは、西里小学校の児童たちが描きました。

今後、記念入場券は上熊本駅で購入することができます。価格は入場券と記念台紙のセットで1000円。なお、JR西里駅の開業日にあたる12月10日（火）には、西里駅で70周年記念式典が執り行われる予定です。（NL編集部）



写真上は、先行販売された記念入場券。下は後藤さんがデザインした台紙の表。同

# 約10カ国の学生が集い語り合う

医学検査学科1年 内田 栞子さん

8月9～17日、韓国の大邱保健大学での留学に参加しました。日本、韓国を含めた約10カ国もの学生が集まり、世界を牽引するグローバルなリーダーとなるための学修をしてきました。ダウンタウンツアーやクッキングコンテスト、K-POPダンス体験といった文化交流体験やその他の活動を通して、家族や友達、夢、恋愛観、趣味や特技、宗教などたくさんのことを語り合いました。

もちろん、話す言葉は全て英語で、言葉も通じず文化も違う、なにもかも非日常的な環境で大変なこともありました。それでも「知ろう」と歩み寄ってくれたのが嬉しかったし、わたし自身も相手を「知ろう」とすることで、自分と同じところ、違うけれど素敵などころなどをたくさん見つけることができました。海外の学生は積極的に前に出る、たくさん話しかけるところなどが素敵だし、反対に日本人の細かい気遣いができるところや謙虚で相手を立てられる長所にも気づくことができました。

相手の国の挨拶を教えてもらう、相手の好きな物に興味を持つ、そんな小さなコミュニケーションから成長を実感することができました。そうしていつの間にか言語や文化の壁など越えて優しく楽しい彼等を大好きになっていました。

”challenge anything”。多くの文化や価値観に触れ、視野を広げられたこの素敵な経験から、一步踏み出す、その大切さを学ぶことができました。

お互いに「知ろう」とする中で成長



日本、韓国、中国、台湾、フィリピンの学生のグループでプレゼンテーション最優秀賞を獲得しました

釜山ツアーで記念撮影するプログラム参加者たち



## 「心電図検定」突破へOBも協力

### 医学検査学科が対策特別講座

医学検査学科では、心電図検定受験や臨地実習前に心電図の知識を深めたい学生などを対象とした心電図検定対策特別講座を11日(金)、実施しました。

講師には本学OB(2020年卒)で心電図検定1級(成績優秀者)を獲得している渡邊浩幸技師(済生会熊本病院中央検査部)を招きました。1限目だったにも関わらず100人を超える参加者があり、検定への意気込みを感じさせる講座となりました。

渡邊技師は心電図の講義に加えて、国体への3度の出場経験や結婚のことなど、仕事と勉強、プライベートとの両立についても自身の体験談を披露。勉強とアルバイト、家事などとの両立に悩む学生へのエールにもなったようです。

今年度の心電図検定は12月下旬に予定されています。授業や臨地実習などとの両立は大変ですが、医学検査学科では皆さんが実力を発揮できるよう応援していきます!(医学検査学科 富田女子)



後輩学生を前に自身の体験談などを語る渡邊技師

# 福岡県予選控え身体機能を測定

本年度3回目となる大牟田高校男子駅伝部サポートプロジェクトを17日（木）、実施しました。プロジェクトは、株式会社明治と健康・スポーツ教育研究センターが協働し、新たなアスリート支援体制の構築を目指して取り組んでいるものです。

今回は、各学年から選抜された選手9人がアリーナで、筋力や持久力など身体機能の測定を行いました。今後は、これまでに得られた結果を取りまとめ、選手個々およびチーム全体の競技力向上に役立つ知見を提供する予定です。

この日は、明治本社と大牟田高校をオンラインでつなぎ、管理栄養士の大前恵氏による「疲労骨折と貧血」についての栄養セミナーも実施しました。選手たちがトレーニングだけでなく、栄養に関する知識も積極的に吸収している姿から、日本一をつかみ取れる可能性が強く感じられました。

男子駅伝部は、12月22日に京都で開催される全国高校駅伝への出場権をかけた福岡県予選（11月3日）に向けて調整を進めています。今シーズンも奥球磨駅伝競走大会（10月6日）での優勝や全九州新人陸上競技大会での複数選手の入賞など好調を維持しており、今後の活躍が期待されます。

（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）



呼吸ガス分析装置を使って心肺機能を測定する  
大牟田高校の男子駅伝部員

## 銀杏アラカルト

### 早朝の虹

秋の早朝、熊本城本丸の方向に見事な虹が出現しました。自宅マンションで虹に気づき、カメラに納めたのは木下統晴理事長。15日午前6時45分ごろのことでした。虹はわずかな時間のうちに消えていったということです。（NL編集部）



今週の1枚



### ■感謝の気持ち込め動物慰霊祭

動物慰霊祭が16日（水）、動物舎横の動物慰霊碑前で執り行われました＝写真。日頃、実習や研究で尊い犠牲となっている実験動物の御霊に、大学を代表して竹屋元裕学長、学生を代表して医学検査学科2年の青木成実さんが慰霊の詞を述べました。また、木下統晴理事長、竹屋学長、動物実験委員会委員長の田中聡教授（リハビリテーション学科生活機能療法学専攻）、学生代表で医学検査学科2年の渡邊杏さんの4人と、学生、教職員等参加者が献花を行い、動物たちへの感謝の気持ちを込めて冥福を祈りました。（総務課）

週間行事予定（10月28日～11月4日）

11/2（土）	大学院入試（推薦・社会人I期）
11/2（土）	助産別科推薦入試
11/2（土）	学部社会人選抜

健・  
スポ  
セン  
ター

**スポーツ科学の未来を考える** 来月1日 順天堂大と合同シンポ

健康・スポーツ教育研究センターと順天堂大学スポーツロジックセンターによる合同シンポジウムが11月1日（金）18時から、50周年記念館で開催されます。テーマは「スポーツ科学の現況と未来について」。順天堂大学ス

ポートロジックセンターの河盛隆造センター長（名誉教授）とともに、健康・スポーツ教育研究センターの活動実績を振り返り、今後の目指すべき目標などについてディスカッションします。

◇お断り) 週刊NEWSLETTER261号は11月5日（火）配信予定です。